

事業実施報告書

平成24年度「日ようび子ども大学」

大学コンソーシアム岡山の産学官連携事業部地域貢献委員会が所掌する事業「日ようび子ども大学」は、県内16大学、4短期大学、1高専が連携して行っている。学生や大学教職員、地域住民が共同で参画できる事業実施を目指して、地域に関する取り組みを取りまとめた。各大学の特色を生かして、工作、科学、運動など楽しく学べるイベントを幼児と児童を対象に開催した。

幼児・児童教育の研究実践を行う大学生と教職員による活動において、学生同士が交流し、大学と地域の方々が繋がりをもち連携を深めることにより、地域に立脚した大学の教育・研究活動の認知を目指した。児童はもとより保護者、県内教育関係者の資質向上にも大きく貢献した。

1. 名 称： 大学コンソーシアム岡山「日ようび子ども大学」 in 京山祭
2. 目 的： 連携大学による地域研究の集約と地域への還元、連携大学間の学生交流と活動の一般への公開
3. 開催日時： 平成24年6月24日(日)
9時45分～10時00分 オープニングセレモニー
10時00分～15時00分 イベント
4. 会 場： 岡山県生涯学習センター(岡山市北区伊島町3-1-1)
5. 参加者数： 1,188名 (対象:一般,学生,大学教職員)
[内訳:大人502名,子ども490名,学生172名,教職員24名]
[他岡山県生涯学習センター:池田動物園 600人,太陽の丘公園 800人,
センター屋内イベント 200人]
6. 主 催： 大学コンソーシアム岡山 日ようび子ども大学実行委員会,岡山県生涯学習センター
7. 後援団体： 岡山県,岡山県教育委員会,岡山市教育委員会,倉敷市教育委員会,
高梁市教育委員会,総社市教育委員会,赤磐市教育委員会,
社団法人岡山経済同友会,山陽新聞社
8. 出展大学： 岡山県立大学,岡山商科大学,岡山理科大学,川崎医科大学,環太平洋大学,
倉敷芸術科学大学,くらしき作陽大学,山陽学園大学,就実大学,中国学園大学,
ノートルダム清心女子大学

9.内 容：以下の11大学による工作，学生主導のゲームや防災体験，絵画，地図作成などを通じて，親子が遊び感覚で経済や科学等を学習する場が設けられた。参加者にスタンプラリー用紙を配布して，4大学の催しに参加した方には先着200名に大学グッズを差し上げた。

大学名	出展者氏名	テーマ
岡山県立大学	保健福祉学部 保健福祉学科 講師 樟本 千里 他	<p>「ことばの不思議を体験しよう！」</p> <p>10:00～12:00 視覚の錯覚の展示(錯視) 聴覚と視覚の錯覚の体験(マガーク効果) 情報処理の干渉の体験(ストループ効果)</p> <p>13:00～15:00 エイムズの部屋の製作(立体の錯視) (待ち時間の調整のためマガークとストループを併用)</p>
岡山商科大学	経営学部 商学科 准教授 高林 宏一	<p>「欲しいものや必要なもの」。考えて手に入れているのかな？</p> <p>小学校中学年までの児童，学童への金融経済教育の実践教育学校生活を離れた夏期休暇を題材として，8因子を前提とした3シナリオから，対象生徒に必要と考えるストーリーを作成し，ロールプレイングゲームとして開催した。</p> <p>1ゲームあたりのタイムスケジュール</p> <p>△10:00 受付，席誘導。</p> <p>00:00 「子どものくらしとお金に関する調査」に基づくミニセミナー</p> <p>07:00 キッズマネープログラムのゲームガイダンス，ルール説明</p> <p>10:00 ゲームスタート</p> <p>40:00 ゲーム終了，各自の結果検証と注意点の説明。</p> <p>50:00 グッズ配布</p>
岡山理科大学	科学ボランティア センター 准教授 高原 周一	<p>「地震から身を守ろう！」</p> <p>①液状化現象の実験 ②防災グッズの展示，防災クイズ ③バケツリレー</p>
川崎医科大学	小児科学 教授 寺田 喜平 他	<p>「からだの仕組みや病気を知ろう」</p> <p>1)からだパズル:体の臓器のフェルトのおもちゃをきちんと並べる。 2)本物の注射器を触ってみよう！ 3)自分のハートにくぎ付け！(心臓の音を聴診器で聴いてみよう) 4)ひざがピクッ！(打鍵器で膝蓋腱反射を試してみよう) 5)立体紙芝居・・・注射はこわくないよ！ 6)寺田教授の相談コーナー 7)ワクチンの説明書の配布</p>

環太平洋大学	こども発達学科 教授 勝田 麻津子 他	<p>「いろいろな運動遊びにチャレンジしよう！」</p> <p>参加者を随時受付。一定人数(概ね40名程度)が集まったら以下の内容を10:00から1時間毎に一回、計7回実施した。</p> <p>① 駆けっこ・鬼ごっこ ② 大学生のお兄さんお姉さんとホール遊び ③ トッチホールゲーム 等約40分間のプログラムを実施した。</p>
倉敷芸術科学大学	産業科学技術学部 経営情報学科 教授 小山 悦司	<p>「色で遊ぼう！体を使ったお絵かき教室」</p> <p>【目的】参加者全員で一つの空間を作り、学校では経験出来ない大きいスケールで物を作る楽しさを知ってもらった。</p> <p>【展示内容】教室を水の中のようにビニールひもで演出。その中で参加者に各自オリジナルの魚を作ってもらった。出来た魚をビニールひもに固定し、みんなで水族館を作った。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>一回目 10:00～11:00 二回目 11:15～12:15 三回目 12:30～13:30 四回目 13:45～14:45</p>
くらしき作陽大学	食文学部 現代食文化学科 教授 藤原 尚子 他	<p>「音楽!食育!!人形劇!!!」</p> <p>1. 音楽で体を動かそう!!楽器をたたこう!! (10:15～10:45, 12:30～13:00)</p> <p>2. ダンス「食育コマまわし」をおどろう!! おおきくなる木 食育 バランスガイド (11:00～11:30, 13:15～13:45)</p> <p>3. 音楽あそびパネルシアター 「ねこのおいし屋さん」絵本と劇「にゃーご」, 「おまえうまそうだな」おどり「アブラハムの子」 (11:45～12:15, 14:00～14:30)</p>
山陽学園大学	総合人間学部 生活心理学科 教授 澁谷 俊彦	<p>「生活心理による安全安心マップ」づくり</p> <p>子ども達に、生活心理に基づいて作成した地図(都市のイメージの理論により作成した岡山県・岡山市・倉敷市の地図)と、手作りの生涯学習センター周辺地図を示し、自宅と幼稚園・保育園・小学校の位置を確認してもらった。その上に、子ども達にとって危険な要素(不審者・自動車・自転車・水の事故・ママシ・蜂・猪)を絵にしたシールを貼り付け、手作りの安全安心マップを作ってもらったことにより、危険な事項と位置を子ども達に認識してもらった。</p>
就実大学	教育学部 初等教育学科 教授 秋吉 博之	<p>「スライムを作ろう！」</p> <p>子どもたちにスライムの製作を通して、理科実験の楽しさを体験してもらい、科学への興味・関心を深めることができた。</p> <p>8:30～ 実験準備 10:30～14:30 スライムの製作 実験材料がなくなったので、終了した。 14:30～ 片付け</p>

中国学園大学	子ども学部 子ども学科 講師 中田 周作 他	「作って遊ぼう！親子で工作教室！！」 親子で楽しむことができる工作教室。紙を材料に工作をしたり、プラバンでアクセサリーを作ったりできる、次の3つのコーナーを用意した。 ①わくわく☆紙ランド♪ ②みんなで作ろう♪でんでんだいこ ③レッツ！プラバン
ノートルダム 清心女子大学	児童学科 講師 小田 久美子	「NDSU cooking studio」 小麦粉粘土と紙や絵の具等様々な素材を使って、楽しいお菓子工作を行った。

10.加盟校:岡山大学, 岡山県立大学, 岡山学院大学, 岡山商科大学, 岡山理科大学, 川崎医科大学, 川崎医療福祉大学, 環太平洋大学, 吉備国際大学, 倉敷芸術科学大学, くらしき作陽大学, 山陽学園大学・山陽学園短期大学, 就実大学・就実短期大学, 中国学園大学・中国短期大学, ノートルダム清心女子大学, 美作大学, 倉敷市立短期大学, 津山工業高等専門学校

11.取り組みの写真



オープニングセレモニー
くらしき作陽大学の学生による演奏



オープニングセレモニー
岡山県生涯学習センター 門野八洲雄氏 挨拶



オープニングセレモニー
大学コンソーシアム岡山会長 波田善夫 挨拶



受付案内コーナー



スタンプラリー 大学グッズ受け取りコーナー



岡山県立大学



岡山商科大学



岡山理科大学



川崎医科大学



環太平洋大学



倉敷芸術科学大学



くらしき作陽大学



山陽学園大学



就実大学



中国学園大学



ノートルダム清心女子大学